

令和7年6月定例会

議案説明資料 予算に関する説明書

(令和7年度6月補正予算等関係)

男女協働未来創造本部

トータルコストについて

トータルコストは、事業ごとに事業費と人件費を一体としたコストを表します。あくまで、費用対効果を判断するための参考表記ですので、職員定数と厳密には一致していません。

令和 7 年 6 月定例会議案説明資料目次

男女協働未来創造本部

【予算関係】

議案番号	件 名	課 名 等	頁
第 2 号	令和 7 年度鳥取県一般会計補正予算（第 4 号）		
	1 補正予算説明資料	（総括表）	3
		未来創造課	4
		県民運動課	5
	2 歳入歳出事項別明細書		7
	3 節の明細		9

議案第2号

補正予算説明資料総括表

男女協働未来創造本部

(単位：千円)

課 名	補正前の額	補正額	計	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
未来創造課	146,668	1,000	147,668	500			500	
県民運動課	34,742	9,906	44,648	4,953			4,953	
合 計	181,410	10,906	192,316	5,453			5,453	
説 明 (未来創造課) ・ (新) フェミサイド対策事業 1,000 千円 (県民運動課) ・ (新) 「みんなで話彩や(はなさいや)」男女協働の運動展開事業 7,556 千円 ・ (新) フェムテックを活用した女性の働きやすい職場環境づくり推進事業 2,350 千円								

令和7年度一般会計補正予算説明資料

2 款 総務費

2 項 企画費

未来創造課（電話：0858-22-6688）

1 目 企画総務費

（単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
（新）フェミサイド対策事業	0	1,000	1,000	500			500	
トータルコスト	補正前：0千円（0.0人）、補正：2,577千円（0.2人）、計：2,577千円（0.2人）							

1 事業の目的、概要

本県においては、子どもたちが安心してインターネット・SNSを利用できる環境の一層の整備を図ろうとしているところであるが、世界的には、SNS上で活動するインフルエンサーの女性がライブ配信中に殺害されるなどフェミサイド（女性であることを理由にした殺人）が疑われる事件が発生するなどしている。

フェミサイドは、性別に関する固定観念により女性の振る舞いが自分の規範から外れていると加害者が認識したときなどに引き起こされる可能性があると言われている。

こうした現状を踏まえ、フェミサイドをはじめ、性差別意識に起因する加害行為や危険にさらされることのない社会の実現を目指し、インターネット・SNS利用時のリスク等に関する理解促進・注意喚起を通じた普及啓発事業を実施する。

2 主な事業内容

内容	予算額
フェミサイドの原因やジェンダー平等などについて理解を深めるための啓発、インターネット・SNS利用時のリスクや注意点などに関するメディアリテラシー向上研修等 【啓発する内容（例）】 ○自身の居場所や予定（学校・職場等）に結びつく情報に対する注意喚起 ○性別による働きづらさ・暮らしづらさの延長線上にあり得る固定的な性別役割分担意識の解消 ○県民一人一人の価値観や考え方、生き方に寛容な人権尊重の意識涵養 など	1,000

※事業実施にあたっては、警察本部も含めて各部局と連携して対応。

令和7年度一般会計補正予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

1目 企画総務費

県民運動課（電話：0858-22-6698）

（単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新)「みんなで話彩や（はなさいや）」男女協働の運動展開事業	0	7,556	7,556	3,778			3,778	
トータルコスト	補正前：0千円（0.0人）、補正：9,922千円（0.3人）、計：9,922千円（0.3人）							

1 事業の目的、概要

「若者・女性にも選ばれる鳥取県」を目指して、老若男女を問わず誰もが働きやすい職場環境や暮らしやすい地域社会の未来創造に向けて、性別の違いに伴う影響への「気づき」や改善事例の発信・伝播・波及を図りながら、「男女協働」に関する地域や企業の活動などを応援することで、さらに多くの県民を巻き込んだ運動展開のうねりを起こし、地域や職場で弊害を生む因習の解消や制度の見直しに繋げていく。

2 主な事業内容

細事業名	内容	予算額
「話彩や（はなさいや）」チーム活動運営事業	【県内若手「話彩やチーム」によるトークキャラバンの展開】 県内在学・在勤の若手県民をメンバーとする「話彩やチーム」が地域や企業を訪ねて多様な属性の県民同士で意見交換し、性別役割分担意識などに起因する働きづらさや暮らしづらさの課題を把握し施策提言を行う。 <「話彩やトーク」の予定> ＊県内各地で7月～12月の間、月2回程度実施	1,056
男女協働未来創造活動支援事業	【働きやすく暮らしやすい環境づくりの県民活動支援】 「話彩やトーク」で生まれた施策ニーズなど、固定的な性別役割分担意識の解消をはじめとした、地域や職場で弊害を生む因習の解消や制度の見直しに繋げる住民活動や、ライフイベント・生活サイクルに合わせた働き方や暮らし方の選択肢を拡げる課題対応活動等に対する支援を行う。 <補助事業> 男女協働活動支援：定額100千円 <委託事業> 働き方や暮らし方の課題対応活動経費	3,000
働きやすい職場環境づくりに向けた国の伴走支援対応事業	【国の「地域働き方・職場改革サポート」ファシリテーターの招聘】 県内企業における若年層や女性従業員の「働きづらさ」の解消に向けて、従業員へのヒアリングや課題対応検討、対応策のモデル化（汎用化）に当たって、国のサポートによるファシリテーターからの助言・アドバイスをいただくとともに、その効果・改善事例や先進事例、働き方・職場改革の成果事例等を紹介するなど、県内他企業への波及・横展開を図る。 ＊県内企業でのファシリテーター受入：1,200千円（県内3事業所程度） ＊横展開（企業向けワークショップ等）：300千円	1,500
性別の違いによるモヤモヤ解消運動展開の改善事例発信事業	【継続的な情報発信】 「話彩やトーク」で得られた知見や、国サポートによるファシリテーターからの助言・アドバイスの効果としての改善事例等を踏まえて、女性をはじめ誰もが働きやすく暮らしやすい地域社会や職場環境づくりを上げながら、地域や職場で弊害を生む因習の解消や制度の見直しに繋げていくため、既存メディアによる連続性をもった情報発信を行う。 <情報発信委託> ＊既存メディア連載企画7月～3月の間、計9本程度	2,000

令和7年度一般会計補正予算説明資料

2 款 総務費

2 項 企画費

県民運動課（電話：0858-22-6698）

1 目 企画総務費

（単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) フェムテックを活用した女性の働きやすい職場環境づくり推進事業	0	2,350	2,350	1,175			1,175	
トータルコスト	補正前：0千円（0.0人）、補正：4,716千円（0.3人）、計：4,716千円（0.3人）							

1 事業の目的、概要

男女の性差や女性同士の個人差を含め、特に職業生活の支障となり得る女性の健康課題への理解促進・ヘルスリテラシー向上を図るため、フェムテック（※）製品を活用した県民向け体験講座等を開催するほか、まずは県職員においてフェムテック製品・サービス等の活用による心身の不調軽減やパフォーマンス向上などの効果検証、健康課題に寄り添う外部相談窓口の設置等を通じて、県施策の意識転換等を図り、働きやすい職場環境づくりを推進する。

（※）フェムテックとは、女性（Female）とテクノロジー（Technology）を組み合わせた造語で、女性の健康課題に対して様々な技術を用いた製品・サービスで対応するもの。

2 主な事業内容

細事業名	内容	予算額
女性特有の健康課題への理解促進	フェムテック製品（生理痛VR体験装置など）を活用した県庁内や県民向けイベント・体験講座を行う。	1,800
県職員による女性特有の健康課題に対応したフェムテックの効果検証	県職員がフェムテックサービス提供企業による製品・サービスをモニター検証し、県庁内のさらなる意識改革を図り、男女共同参画社会の実現に向けた各種施策に活かす。 ※経産省が実施するモニター事業に一事業所として応募	既定予算 対応
女性特有の健康課題に係る相談支援	県庁において女性職員が相談しづらい健康課題について、専門機関と連携した相談窓口を試行的に運用し、秘匿希望への配慮や医療機関への受診勧奨誘導、フェムテックツールの試用などで働きやすい職場環境の実現を図る。	550

令和7年度一般会計補正予算(第4号)歳入歳出事項別明細書(男女協働未来創造本部)

(単位:千円)

款 項 目 節		2款 総務費							
		補正前	補正額	補正後	2項 企画費				
					補正前	補正額	補正後	1目 企画総務費	
								補正前	補正額
1	報酬	32,827		32,827	32,827		32,827	32,827	
2	給料	39,160		39,160	39,160		39,160	39,160	
3	職員手当等	30,920		30,920	30,920		30,920	30,920	
4	共済費	20,780		20,780	20,780		20,780	20,780	
5	災害補償費								
6	恩給及び退職年金								
7	報償費	4,522	240	4,762	4,522	240	4,762	4,522	240
8	旅費	4,469	180	4,649	4,469	180	4,649	4,469	180
	費用弁償	1,706		1,706	1,706		1,706	1,706	
	普通旅費	760		760	760		760	760	
	特別旅費	2,003	180	2,183	2,003	180	2,183	2,003	180
9	交際費								
10	需用費	5,588		5,588	5,588		5,588	5,588	
11	役務費	2,689		2,689	2,689		2,689	2,689	
12	委託料	28,924	9,486	38,410	28,924	9,486	38,410	28,924	9,486
13	使用料及び賃借料	2,618		2,618	2,618		2,618	2,618	
14	工事請負費								
15	原材料費								
16	公有財産購入費								
17	備品購入費								
18	負担金、補助及び交付金	8,913	1,000	9,913	8,913	1,000	9,913	8,913	1,000
19	扶助費								
20	貸付金								
21	補償、補填及び賠償金								
22	償還金、利子及び割引料								
23	投資及び出資金								
24	積立金								
25	寄付金								
26	公課費								
27	繰出金								
	予備費								
計		181,410	10,906	192,316	181,410	10,906	192,316	181,410	10,906
財源内訳	国庫支出金	12,575	5,453	18,028	12,575	5,453	18,028	12,575	5,453
	地方債								
	その他	333		333	333		333	333	
	一般財源	168,502	5,453	173,955	168,502	5,453	173,955	168,502	5,453

令和7年度一般会計補正予算(第4号)歳入歳出事項別明細書(男女協働未来創造本部)

(単位:千円)

款 項 目 節		男女協働未来創造本部合計		
		補正前	補正額	補正後
1	報 酬	32,827		32,827
2	給 料	39,160		39,160
3	職 員 手 当 等	30,920		30,920
4	共 済 費	20,780		20,780
5	災 害 補 償 費			
6	恩給及び退職年金			
7	報 償 費	4,522	240	4,762
8	旅 費	4,469	180	4,649
	費 用 弁 償	1,706		1,706
	普 通 旅 費	760		760
	特 別 旅 費	2,003	180	2,183
9	交 際 費			
10	需 用 費	5,588		5,588
11	役 務 費	2,689		2,689
12	委 託 料	28,924	9,486	38,410
13	使用料及び賃借料	2,618		2,618
14	工 事 請 負 費			
15	原 材 料 費			
16	公有財産購入費			
17	備 品 購 入 費			
18	負担金、補助及び交付金	8,913	1,000	9,913
19	扶 助 費			
20	貸 付 金			
21	補償、補填及び賠償金			
22	償還金、利子及び割引料			
23	投 資 及 び 出 資 金			
24	積 立 金			
25	寄 付 金			
26	公 課 費			
27	繰 出 金			
	予 備 費			
計		181,410	10,906	192,316
財 源 内 訳	国 庫 支 出 金	12,575	5,453	18,028
	地 方 債			
	そ の 他	333		333
	一 般 財 源	168,502	5,453	173,955

節 の 明 細

項 目			金額（千円）等
2 款 総務費			
2 項 企画費			
1 目 企画総務費			
	負担金、補助 及び交付金	男女協働未来創造活動支援事業補助金	1,000